

第 1 1 章 方法市長意見書等を総合的に検討して
方法書の内容を変更した事項

第 11 章 方法市長意見書等を総合的に検討して方法書の内容を変更した事項

令和 4 年 7 月に提出した環境影響評価方法書（以下、「方法書」といいます。）に対する方法市長意見書等を総合的に検討し、方法書の内容を変更した事項は、表 11-1 に示すとおりです。

表 11-1 方法書の内容を変更した事項

方法書の項目	方法書からの変更点	準備書での記載概要	準備書該当ページ
事業計画の概要	施設配置計画	計画の進捗により、交通広場の機能を追記しました。	p. 2-13
		施設配置図に交通広場の形状を追加しました。	p. 2-14
		計画の進捗により施設配置図及び施設断面図を最新の情報に変更しました。	p. 2-14～17
	緑化計画	方法市長意見書を受け、周辺地域に生息する、鳥類やチョウ類といった動物の調査結果を踏まえた樹種選定について追加しました。	p. 2-26
	施工計画	隣接事業の工事期間を参考として追加しました。	p. 2-28
		方法市長意見書を受け、土壌調査により汚染が確認された場合の、法令やガイドライン等に基づく対応を追加しました。	p. 2-32
環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定	土壌	環境影響評価審査会でのご意見を反映し、非選定の理由を変更しました。	p. 5-4 p. 5-7
環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法の選択	全般	方法市長意見書を受け、隣接事業や旧横浜市庁舎街区の影響を踏まえることが望ましい評価項目は、隣接事業や旧横浜市庁舎街区の影響を加味した調査、予測及び評価を追加しました。	6 章全般
	大気質	方法市長意見書を受け、旧横浜市庁舎街区の建物供用による影響濃度をバックグラウンド濃度に考慮した予測及び評価を追加しました。	p. 6. 4-37
	地域社会	方法市長意見書を受け、混雑が予想される交差点においては、実測値による飽和交通流率をもとにした検証を追加しました。	p. 6. 12-35 p. 6. 12-47 p. 6. 12-54
	景観	環境影響評価審査会でのご意見を反映し、海を臨む景観調査地点として「地点8 大棧橋ふ頭」を移動するとともに、「地点20 山下ふ頭」を追加した景観調査、予測及び評価に変更しました。	p. 6. 13-19 p. 6. 13-29